

～福津かがみの海のブルーカーボンプロジェクト～

プロジェクト概要

本プロジェクトは、昭和61年から平成元年にかけて、元々砂地であった場所にアワビの生育場形成を目的とした藻場投石礁を設置し、豊かな漁場環境を育ててきました。

しかしながら、近年、アイゴによる食害が顕著であり、磯根資源の枯渇が懸念され、2年前から地元の漁業者によりアイゴ駆除活動を実施しています。

プロジェクトの特徴

年間を通して17回の駆除活動を行い、計385尾、約190kgのアイゴを駆除しています。本プロジェクトでは、上記の藻場再生の駆除活動にとどまらず、低・未利用魚であるアイゴを宗像漁業協同組合津屋崎支所が買い取り、県立水産高校にアイゴの調理方法を依頼し、商品開発にも取り組んでいます。その結果、作られた「バリのぬかみそだき」は2024Fish缶グランプリで最優秀賞を受賞しました。



アイゴによる食害



駆除されたアイゴ



豊かになった藻場



福津かがみの海



最優秀賞受賞「バリのぬかみそだき」

宗像漁業協同組合津屋崎支所